

えーる！

平成 27 年号

 まちづくり応援団 えーる

もくじ

第16号

銀嶺の舞特集

第17号

鹿野中学校ラジオ出演特集

第18号

「生きる力」特集

第19号

山野草のエキ特集

第20号

いっておかえり鹿野市特集

第21号

天神祭と網代特集

第22号

いっておかえり鹿野市番外編と天神祭特集

第23号

劇団「わ」特集

第24号

女子道社と神社特集

第25号

いっておかえり鹿野市特集

21回目の「冬花火」開催！

えーる！

発行：
まちづくり応援団えーる
URL：
<http://yell.link/>
Mail：
mail@yell.link



大雪の中、たくさんの方が鹿野に集まりました！

新年あけましておめでとうございます。鹿野は元旦からすごい雪になりましたね。皆様はお変わりなくお過ごしでしょうか？ 今月の「えーる！」は、昨年二月一三日に行われた「銀嶺の舞」の様子をご紹介します。花火、と言えば夏のイメージがありますが、この「銀嶺の舞」はなんと冬の寒い中で行われています。今回が、なんと二回目。わたしも、子どもの頃に家から花火のあがる様子を見たような記憶が残っています。

今回はどんな花火になるんだろう……と思っていたところ、当日は強い寒波の影響から、雪が降りしきる中での開催となりました。

ですが、上の写真の通

会場では、色々な出店がありました。こちらはその中の一つ、焼きそば屋さんの様子です。木村市長も、一緒にこの焼きそばを作られていましたよ。



り、ステージの設営された会場には、たくさんの方が集まっていました！中には徳山からいらっしやった方もおり、皆さんがいかにかこの花火を楽しみにしているのかを感じることができました。七時からの花火開始までに、会場の総合体育館

前では、鹿野高原開発、大潮田舎の店、高齢者センター、PTAの皆様など、たくさんの方々がバザーを出店され、イベントを盛り上げていました。今年末も、賑やかで、より素敵な「銀嶺の舞」が開催されることと思います！

会場、盛り上がりました！

～ 花火&ステージの様子 ～



ステージでは、各種の催しも行われました。左の写真は催しの一つで、スイス生まれの「アルプホルン」の演奏です。平生町から来られた奏者の方が演奏されていたこの楽器の長さは、なんと三メートル以上もあるんですよ！

元々は、散らばった羊たちを呼び寄せたりするのに使われていたものなんですって。

この演奏の後、「こんなものでも演奏ができます」と、ゴムホースやがんぜきを使って、アルプホルンと同じように音を奏でられていました！ 身近なものであっても、楽器になるんだなぁと思いました。

「銀嶺の舞」は、花火を彩るレーザー光線・音楽も魅力の一つ。今回は、打ち上げの様子を動画で撮影、インターネットで公開いたしました。ホームページ (<http://yell.link/>) から動画を見ることが出来ますよ。興奮を、もう一度あなたに！

そして、七時からついにメインイベントの花火打ち上げが始まりました。まず、大型のスクリーンで鹿野の動画が流れ、レーザー光線と音楽に合わせて、約一五分間の花火打ち上げが行われました。雪が舞う中、たくさんの人が打ち上げられる花火の様子に、歓声を上げていらしかったです。流行の音楽に乗せて打ち上げられる花火の様子は、素晴らしいの一言に尽きます。非常に寒い中の開催でしたが、雪の中の開催というのも、



きつと皆さんの心にいい思い出として残ったのではないかと思います。

「銀嶺の舞」は、皆の力でできてます

二〇年以上続く「銀嶺の舞」ですが、このイベントが長く続いてきているのは、実行委員会の皆様の尽力はもちろん、有志の皆様の力が集まって作られているものと思います。

今年末の「銀嶺の舞」も、みんなの力で成功させたいですね！

今年で六年目！

あがごきんす

早いもので、今年二月をもって、「まちづくり応援団えーる」は活動六年目を迎えます。

昨年より不定期更新として発行を再開した「えーる」ですが、皆様の元気な姿を追い続けながら、なんとか発行を続けていけています。

今年も一年、「まちづくり応援団えーる」をよろしく願います。



鹿野をラジオで発信！

えーる！



発行：
まちづくり応援団えーる
URL：
<http://yell.link/>
Mail：
mail@yell.link

一年で一番寒い、という二月に入りましたが、皆様はお元気に暮らされていますか？

今月号の「えーる！」は、二月七日に下松市の「ザ・モール周南」で行われた、エフエム周南の番組に出演した、鹿野中学校生徒会の様子をご紹介したいと思います！

この放送は生放送で、放送すべてをお伝えすることはできませんが、少しでも鹿野のがんばっている生徒の様子を伝えられればと思います。

生徒会長の三浦真央さんが「とってもいい一時間になりました。新体制になって一か月だけど、みんな堂々とできていたと思います！」と評した番組の様子を、どうぞご覧くださいませ。

鹿野中学校生徒会の皆さんが、ラジオに出演しました！



鹿野中学校は、全校生徒59人。平成26年度は、「元気なあいさつ」「毎日読書」「無言清掃」を目標に掲げ、活動しています。

地域のお年寄りにお弁当の配食ボランティアをしたり、韓国の高校生との交流、幼稚園・小学校と合同の文化祭、暑い夏休みから準備を続けた体育祭など、とても元気に活動が続けているんですよ。

皆さんも町なかで生徒さんのがんばりを見かけたら、ぜひ声をかけてくださいね！



放送は午後二時から一時間ありました。生徒さん一人ひとりの好きな音楽の話などを交えながら、鹿野のいいところや、鹿野中学校の活動の様子などを思い思いに語っていました。番組は進んでいき放送を聞いている人た

ちからの応援メッセージの読み上げながら進んだ番組は、大人顔負けの素晴らしい放送になったと思います。

開始当初は緊張した表情だった生徒会の皆さんも、放送が終わる頃にはたくさんの笑顔を見ることができましたよ。



放送には、梯（かけはし）校長先生も応援にかけつけてくれました。
「リラックスしてがんばろう。日頃の自分を出して！」と、エールを送っていらっしゃいました！



スタジオの外には、たくさんのお友達、先生方、父兄の方が駆けつけていました。放送の様子を写真に撮ったり、音楽が流れている間に、出演者の生徒さんとはしゃいだり……みんなの応援があつて、生徒会の皆さんの出演がよりよいものになったと感じました。

「またやりたい」生徒さんの感想にそんな言葉もありました。
わたしもずっと外で聞いていたんですが、素敵な放送でしたよ！

**生徒たちの
がんばりに
期待大！**

コンサートやボランティアなど、たくさんの方の活動をされている鹿野中学校の皆さんですが、今後も鹿野のイベントに出演してくれるをうです。

若い力とベテランの力を合わせて、一緒に鹿野の元気を作り出していきましょう！

これからの生徒さんの活躍に、期待大です！

ご存知ですか？「生きる力」

えーる！

発行：
まちづくり応援団えーる
URL：
<http://yell.link/>
Mail：
mail@yell.link



皆で創り上げよう！ 「生きる力」で情報発信！

暖かい日も増えてきて、
もうすっかり春ですね。
花粉症で毎日が辛い……
なんていう方もいらっしゃるかな？

さて、皆様は毎月十日
に発行されている「生きる
力」という情報誌をご
存知ですか？ この「生
きる力」は、中西商會さ
んが昨年十二月に創刊さ
れた情報誌です。群馬県
みどり市で発行されてい
る地域新聞を参考にして
始められたんです。

中西さんは鹿野の今後
について、観光や企業誘
致ではなく、雇用を作り
出すことを中心にした考
え方をお持ちです。「生
きる力」創刊号でも、イ
ンターネットを利用した
販売についてのお話があ
りました。実際に、鹿野
の特産品である山代和紙

などを販売されていらっ
しゃるんですよ。

「生きる力」に
情報を寄せて
みませんか？

この「生きる力」では、
イベント開催や商品販売、
意見発表など、色々な情
報を無料掲載できるそう

情報誌の裏はチラシになっています。お電話で、無
料宅配・無料送迎サービスもご利用できますよ！



です。小さなことでもど
んどん発信することで、
たくさんの方がたにな
る情報を得られるよう
なると素敵だと思います。
たくさんの方が、た
くさんの人の目に留ま
れば、もっと「生きる力」
が湧いてくると思います。
情報提供は、中西商會さ
んまでどうぞ！

こんな活動もされています！

活動風景



鹿野食べ歩き！ ランチのお誘い！



鹿野の中にはたくさんの素敵なお店がありますが、交通手段がなくてなかなか行くことができない……そんな方々のために、中西さんが送迎して鹿野の飲食店で昼食会を催されています。

写真は渋川の農家レストラン「たぬき」さんに行かれた時のものです。8人の方が参加され、おいしいご飯を食べながら、和気あいあいとした雰囲気の中で時間を過ごされていましたよ。なかなか行きたくても行けないお店がある……という方は、リクエストしてみてもいいかも？

ちなみに3月は、下松健康パークに行かれるみたいです。

NPO法人「日本を美しくする会」の方式に則り、町内のトイレ掃除もされています！ わたしも2月、トイレ掃除に参加しました。

鹿野総合支所前の公衆トイレの掃除でしたが、道具の量が物語る通り、ただのトイレ掃除ではありません。壁から棚の上に積もった埃まで、とことんきれいにさせていただきました。

わたしが参加したのは2時間程度でしたが、2時間では一か所のトイレがきれいになりきらない！

何事も本気で取り組むと、時間がかかるものだと痛感いたしました。トイレ掃除は毎月行われていますので、皆様もぜひ参加してみてくださいね。

鹿野のトイレ掃除も行いました！



“鹿野の宝”を育てて17年



えーる！

発行：
まちづくり応援団えーる
URL：
<http://yell.link/>
Mail：
mail@yell.link

石鍋工業団地横に広がる、山野草をご存知ですか？

あちこちで田植えも始まって、暑さも厳しくなってきました。五月とは思えない陽気が続いていますね。

さて、皆さんは、石鍋工業団地にある鹿野屋さんの横に、たくさんの山野草が咲く場所があるのをご存知ですか？

この場所は、鹿野上にお住まいの伊藤芳高さんが、なんと一人で一七年もの時間をかけて作り上げられた、まさに山野草の宝庫ともいえるべき場所なんです。

伊藤さんがご自分の山で山野草を育て始めたのは、元々は自分が楽しむためでした。しかし、いつの間にかたくさんの方が噂を聞きつけて、きれいに咲く山野草を見に来るようになったそうです。

今では、山野草好きな方々が鹿野を訪れる際のコースの一つとして数えられるほど、たくさんの人が訪れる場所になっていっていますよ。

この場所を「鹿野の宝」

と評する方もいらっしゃるようですが、長い年月を経て作り上げられたこの場所は、まさにそう呼ぶにふさわしい場所だと思っています。わたしもその宝を、見学してきました。

入口にはこんな碑がありますよ！





山の中にある山野草には、名前が書いた札が丁寧に付けられていて、初めて山野草を見る方にもとてもわかりやすくなっています。また、山の中の坂道ではありますが、順路には道や手すりがついているので、歩きやすかったです。

わたしが訪れた5月には葉だけのものもたくさんありましたが、左の写真や、表面の写真のように、きれいな花を咲かせている草もありました。春・秋の七草が植えられていたり、「延命地蔵尊」と銘打たれたお地蔵さんがあったり、万葉集の句碑があったりと、見所はとてたくさんあるんですよ。

右の写真は、足元の山野草から顔を上げて撮影した木々の写真です。わたしが足を運んだ時はあいにくの雨模様でしたが、鳥の声と、雨のしずくの音だけがする、とても静かな空間であったように思います。

山野草の咲く山の中はまさに自然そのもの。山野草はもちろんですが、それを取り巻く周辺の自然も、とても素晴らしいものだと感じました。静かな森の中の空気も含めて、より一層山野草の魅力が引き立っているように感じました。

写真ではこの雰囲気を伝えるのはとても難しいことです。是非、足を運んでみられて、山野草の美しさ、森の静かさを、肌で感じていただければと思います。



みんなで、この「鹿野の宝」を守っていきませんか？



伊藤さんもご高齢になり、管理が困難になってきました。たくさんの方が訪れるこの場所が荒れていくのは忍びない…と思われていたときに、鹿野の有志で「山野草のえき」保存の会が結成されました。現在、イノシシの被害から山野草を守るために、イノシシよけの柵を作るための募金呼び掛けています。募金箱は、「cafe マルタ」さん、「農家レストラン たぬき」さんに設置されています。皆さんの力で、この山野草を守るための柵を作りませんか？

保存の会は現在5名。保存に協力したいという方の参加もお待ちしています。みんなの力で、「鹿野の宝」を守っていきましょう！

"鹿野市"に子どもの声

えーる！

発行：
まちづくり応援団えーる
URL：
<http://yell.link/>
Mail：
mail@yell.link



鹿野茶でおもてなしも！ 二日間の鹿野市、盛況でした。

半袖で過ごす日が多くなってきましたね。

最近暑くなっています
が、梅雨が始まると少し肌寒くなるかな？

今回の「えーる！」では、五月二三・二四日に開催された「いっておかえり 鹿野市」の様子をお届けいたします。

今回が六回目、すっかりおなじみになってきたこの催し。一日目は小雨でしたが、二日目は快晴の下で開催できました。

今回の「鹿野市」では「鹿野茶」を大きく取り上げていらっしやいました。無料で鹿野茶の振る舞いがあったほか、目の前で茶葉を炒っていらっしやったりもしました！
わたしが見つけた時は少し匂いが飛んでしまっていた、という話ですが、

それでも香ばしいお茶の香りが漂っていましたよ。
このお茶で作った「茶がゆ」も無料でふるまわれ、「茶がゆで私たちは育ったんですよ」とお店の方が話されていました。
それほど、昔は当たり前

イモと焼き米を入れてふるまわれた茶がゆは、とてもやさしい味でした。
他にも、上市の通りにはたくさんのお店や人が集い、とても賑やかで楽しい雰囲気でした。
そして、今回はもう一つ、素敵なことがあったんですよ。



それは、鹿野小学校・鹿野中学校の児童・生徒の皆さんが、この「鹿野市」を盛り上げるのに一役かっていたことです。

午前中、鹿野総合支所前駐車場では、鹿野小学校児童一〇四名が各学年ごとに考えた内容の出店を行っていました。五・六年生は、鹿野茶の販売をしていましたが、この鹿野茶は茶の葉を摘み、もみ、炒るまでを児童の皆さんが行ったもののだそうです。鹿野市にお店を出す、というだけではなく、お茶を摘んでもみ、炒るという経験が、きっといい思い出になったのではないかと思います。

午後にはもう出品物は完売して、お店自体もとても盛況でしたよ！



午後からは、鹿野中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏が、同じく鹿野総合支所駐車場にて披露されました。写真ではお伝えできませんが、鹿野小学校の皆さん以外にも、たくさんの方が演奏を聴きに集まっていた、鹿野総合支所の駐車場は人でいっぱいでした！途中、吹奏楽の楽器の豆知識クイズなども交えながら披露された数曲に、皆さん耳を澄ませていらっしやいました。

この演奏の最初の一曲を撮影し、インターネットで公開しています。鹿野中学校の皆さんの熱演を、是非聞いてみてくださいね。



また、鹿野市の各店舗でも、児童生徒の皆さんの活躍が見られました。店舗前で呼び込みをして、店舗のお手伝いをしていたんですよ。「いらっしやい」「いかがですか」と、元気な声がいくつも聞けて、いつもよりも賑やかな催しになったと思います。

今回の参加には、児童を催しに参加させたいという鹿野小学校・中原校長先生の思いがありました。こうして子どもたちが参加することで、もっと地域が元気になる、将来地域を引っ張っていく人たちが育っていくのだと思います。

未来を感じることができた「鹿野市」でした！

天神祭の季節です！

えーる！

発行：
まちづくり応援団えーる
URL：
<http://yell.link/>
Mail：
mail@yell.link



天神祭の「受組」一覧

・大行司、小行司

菅原公を出迎える様子を再現しています。竿付きの着物を着ているのは、慌てて竿を抜かないまま着物を着て、菅原公を出迎えたことを現しています。

・ご神牛

牛は天神様と関わり深い動物で、代々淡川地区から牛を出します。口蹄疫（牛の病気）のせいで、最近はなかなか催すことができないのだとか。

・奴（やつこ）

毛利藩の参勤交代を再現したものです。宿入りを再現した「宿入り奴」と、それを簡略化したものがあります。

・網代（あじろ）

さらし姿の「裸坊」たちが、神様を楽しませるために行う「神にぎやし」の行事です。巨大な網代車を引きまわす勇壮な催しです。

・ドロ

子どもたちが主役で、神様の乗り移った太鼓を持つ「御神幸」が行われます。

今年ももう七月。七月といえば、おなじみ「天神祭」です。今回は、皆さんおなじみの天神祭についてお伝えいたします。

この天神祭は、二所山田神社と同じ境内にある「菅原神社」のお祭りです。この菅原神社には「天神様」である菅原道真公が祭られています。天神様は学問の神様として有名ですが、この天神

今年ももう七月。七月といえば、おなじみ「天神祭」です。今回は、皆さんおなじみの天神祭についてお伝えいたします。

天神様が鹿野に來られて、なんと三〇〇年！



網代保存会では、一緒に網代車を引く「裸坊」を募集しています！さらし姿になって、汗だくで巨大な車を引きまわす様子は、まさに勇壮のひとことに尽きます。写真は、昨年、丸久の跡地で網代車を引く様子です。この会場では、よみこも行われていました。網代保存会が神様を楽しませるために行う「神にぎやし」は、まさに天神祭の一大イベントです。
ご自身だけでなく、親戚、知人の方など、興味がある方が身近にいらっしやいませんか？ 今年は見ているだけではなく、一緒に網代車を引いて、「神にぎやし」に参加しましょう！

**“裸坊”やってみませんか！？
網代と一緒に「神にぎやし」**

大募集！

一緒に天神祭を盛り上げましょう！！

今年は特別“宿入り奴”！

あなたの参加、お待ちしております

今年は堤地区が輪番で回ってきた「大行司」の担当地区です。これにあわせて、参勤交代の宿入りを再現した「宿入り奴」を行います。この行列に参加する仲間を募集中です。初めての方でも大丈夫、七月に入って練習を行います。長い行列を作って鹿野の町なかを練り歩く姿は必見ですが、見るだけでなく、一緒に歩けばもっといい思い出になりますよー！



どちらの受組も、お問い合わせは表面のメールアドレスまでお願いします！

清流を感じるひととき

えーる！

発行：
まちづくり応援団えーる
URL：
<http://yell.link/>
Mail：
mail@yell.link



記録的な猛暑と言われている今年の夏ですが、皆様いかがおすごしでしょうか？

この暑さの中、八月一日、二日に「いっておかえり 鹿野市」番外編が開催されました。

番外編と言っても催しは盛りだくさん。今回特に興味をひかれたのは、上の写真にもある「足水」です。

かつて、鹿野の町なかの真ん中を流れていた潮音洞の水。今では、道の両側にある溝の中を流れています。今回はその蓋が開けられ、足をつけられるように工夫されました！

じりじりと焼けるような暑さの中で、冷たい水の中に足をつけると、とても気持ち良かったです。

鹿野市の時にかけるのれんも、すっかりおなじみになりました！ 今回は風鈴つきで涼しさ倍増です♪



「清流のまち」鹿野！ 水で夏を涼しく♪

よ。「平成の名水百選」

にも選ばれたこの清流を、まさに肌で感じる事ができたと思います。また、

足水の中には川魚も泳いでいて、いっそう清流を感じることができました。

そして、この足水付近では昔ながらの冷却法である「打ち水」も行われ

次回「鹿野市」は、今年の十月～十一月にかけて行われる予定です。今度は秋の「鹿野市」をお楽しみに！

ていました。

いつもはエアコンなどに頼りがちですが、昔ながらの方法で涼をとるのもいいですね。

次回の「鹿野市」は、

今年の十月～十一月にかけて行われる予定です。今度は秋の「鹿野市」をお楽しみに！

天神祭、大盛況！



先月号でも取り上げた七月三十日開催の「天神祭」には、暑い中にも拘わらずたくさんの人が参加しました！ 明るいうちから浴衣姿の人がたくさんやって来て、「大行司」「網代」「奴」と、各地区・保存会の皆さんが繰り出し、その様子をたくさんの方が見守っていました。テレビ局の方も来て、祭りの様子を撮影していました。夜の会場ではよさこいも披露されていました。奉仕は夜九時を過ぎても続き、鹿野の夜を彩ったんですよ。



わたしは「奴」に参加しました。今年は一宿入奴（しゅくいりやつこ）を、堤から御旅所まで歩き、祭りの会場である上市の中を歩き、参勤交代の様子を披露することができました。わずか数キロの道のりだけでも、足が痛くなったり、汗びっしょりになったり……当時の人たちはもっと長い距離を歩いていたわけですから、とても大変だったのだろーと感じました。お祭りを盛り上げる側になると、見ている以上にたくさんの思い出ができました。今度は皆さんも、一緒に「天神祭」を盛り上げてみませんか？

父の献眼“光を繋いで”



えーる！

発行：
まちづくり応援団えーる
URL：
<http://yell.link/>
Mail：
mail@yell.link

劇団「わ」の公演が、新南陽で行われます！

一〇月二五日に「第二回アイバンク基金チャリティショー」が行われるのはご存知ですか？

新南陽ふれあいセンターで行われるこの催しに、おなじみの劇団「わ」が出演します！

この催しは、新南陽若山ライオンスクラブさんが主催している、眼の「角膜」を自分が死んだ後に提供する「アイバンク」という機関を応援するために行われているもので、今回で二五回目を迎えます。

たくさんさんの献眼登録、献金が寄せられ、目の不自由な人たちのために役立てられているんですよ。今回、劇団「わ」がそのチャリティショーに呼ばれることになりました。劇団「わ」の代表・亀

谷三千代さんに、その意

気込みを聞いてみました。

「今回、他の団体から依頼を受けて行う公演となっ

たのは、ライオンスクラ

ブの皆様の、「アイバン

クの普及に努めたい」と

いう思いに賛同したから

です。わたしたち劇団

「わ」の公演を通して、

もっとたくさんの方がア

イバンクのことを知り、

理解を深めてほしいなど

思っています。

また、このように他の

団体から依頼を受け、公演をしていく、という劇団「わ」のスタイルも考えていく第一歩となりました」

これからの「わ」の活動にも大きな意味がある公演になりそうです！

チャリティショーでは、「わ」の他にも福川小学校の演奏などもあり、様々な団体が参加される予定です！ぜひ、足を運んでみてくださいね。

「第25回アイバンク基金 チャリティショー」

開催日：平成27年10月25日（日）

開場 9:30

開演 10:00

会場：新南陽ふれあいセンター

入場料：500円（18歳未満無料）

劇団「わ」の出演は、12:15頃から30分程度の予定となっています。

10月最後の日曜日、ふれあいセンターに行ってみませんか？

練習、がんばってます！

劇団「わ」練習風景

父の献眼「光を繋いで」 あらすじ

祖父、雄一は子供の頃、生まれつき眼の见えない13歳の妹、千恵の目を治そうと、うなぎ取りに夢中になり毎日のように川へ行っていたが、或る日の事、千恵は帰りの遅い兄を心配し川へ迎えに行き誤って川へ落ちて亡くなった。

雄一は自責の念を背負った人生を送っていたが家族の献眼の会話を聞き千恵への積年の思いを成就させる。



今回の公演の練習は、仕事や学業で忙しい合間を縫いながら、9月から毎週1回のペースで行っています。

もうすっかりおなじみになったメンバーに加え、小・中学生の方をはじめ、今回は初参加の方もたくさんなんですよ！

自分から「やってみたい」という声を上げた方もおられるとのことで、やる気十分の練習となっています。

今までの熟練メンバーはもちろん、新人さんの名演技にも期待ですね。

どんどん新しい人が参加し、新しい風が吹く中での「わ」の公演に、どうぞ期待です！

和気あいあい、でも練習の時は真剣に、がんばっています！

緊張感の中、楽しみながら、演技に磨きをかけていますよ。



父の献眼「光を繋いで」 キャスト

雄一	坂本 良夫
一成	洞崎 伸治
文子	寺戸 ひろみ
司	大平 倫也
由美・千恵	福山 彩
まよ	大田 悠以
かおり	中村 美江

脚本・演出	小西 規子
音響	岩田 純

以上のメンバーで、お届けします！

"女子道"がこのまちに

えーる！

発行：
まちづくり応援団えーる
URL：
<http://yell.link/>
Mail：
mail@yell.link



明治の頃に謳われた「男女平等」、ここにあり。

朝晩の冷え込みがすごいですね！ もう、秋というより冬の気配がする今日この頃です。

さて、皆さんは「女子道社」をご存知ですか？

二所山田神社のそばにある、上の写真のような建物です。この女子道社、実はとても大きないわれがある組織なんですよ。

時は明治、江戸時代が終わったものの、昔からの因習として、まだまだ男尊女卑の傾向は強く残っていました。

そんな中で、当時の宮司である宮本重胤さんは、「神道には本来男尊女卑という考えはない」との考えを示し、神社界初の全国組織である「大日本敬神婦人会」という会を結成されました。

この会は、女性の権利を擁護する主張を展開し、今では当たり前になっている女性の参政権など、数々の女性運動に関わってきました。

その機関紙の名前に、「女子道」の名前を見ることが出来ます。この「女子道」は、明治三十六年から昭和十七年、戦争の影響で発行されなくなるまでの三十九年間の間、発行され続けてきたものなんですよ。



こうした女性運動の他、今では一般的になっている「神前結婚式」を一般に広めるなど、色々な活動を行ってきた組織なんです。二所山田神社のそばには、写真のような石碑も建てられています。今では当たり前になっている男女平等の考え方を、男尊女卑の時代にすでに唱え始めた女子道社。鹿野は、昔から時代を先取りした考え方を持っていたんですね。

神社付近を、びらり探訪。～ 鎮守の森と、旅するアサギマダラ～

女子道社付近を歩いてみると、神社と言えば欠かせないおみくじについてのお話や、自然がいっぱいです！



神社と言えばおみくじですが、二所山田神社にもこんなふうにおみくじが結び付けられています。

ところで、どうしてこのようにおみくじが結ばれているかご存知ですか？「悪い運勢を持ち帰らないため」「神様に思いを伝えるため」など、色々言われていますが、宮本宮司さんによると、特に結ぶ行為自体にいわれはないそうです。おみくじは神様からのお言葉。その言葉をどう受け止めるかが大事なんですよ。

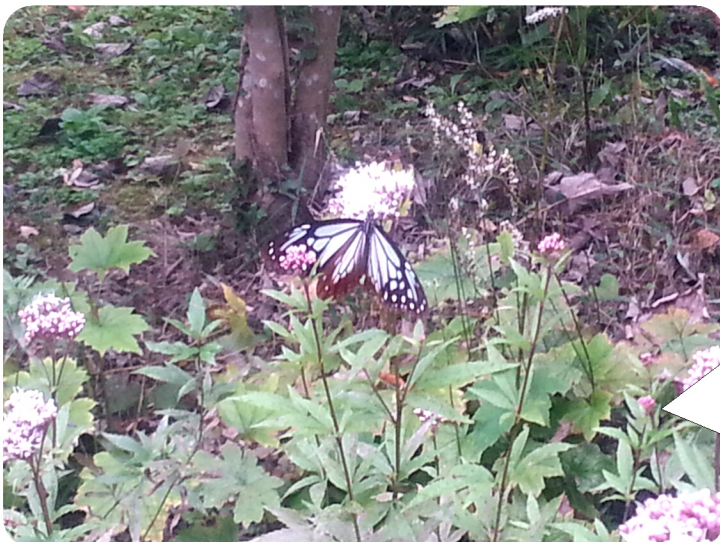
二所山田神社の入口に、こんな看板と巨木が立っているのを、見かけたことがあると思います。

この看板にあるとおり、二所山田神社の鎮守の森には、県内でも有数の巨木群があるんですよ。

皆さんも、二所山田神社を訪れたときは、是非上を見上げてみてください。木々の大きさに、驚かれると思います！

神社を囲む鎮守の森は、ずっと昔から神社とともにあるものです。その森の中には、たくさんの命が宿っているんですよ。

この森の中には、たくさんの山野草が咲き、動物たちが生きています。大型のカエルであるモリアオガエルが生息していて、春から夏にかけては、卵を見ることができるかもしれませんね。



神社のすぐ近くに咲いているフジバカマで羽を休める、アサギマダラです。「えーる！」でも何度か取り上げてきた蝶ですが、何千キロという長い旅をする、渡り鳥ならぬ「渡り蝶」として有名なんですよ。

フワフワと風に乗るような飛び方をする蝶でもあり、春に見かけるモンシロチョウなどとは飛び方がまったく違います。まだまだ、その姿を見ることができるかも！？

秋晴れの鹿野に“いっておかえり”

えーる！

発行：
まちづくり応援団えーる
URL：
<http://yell.link/>
Mail：
mail@yell.link



気が付けばもう十一月、あつという間に年の瀬がやってきますね。冬が近づいて寂しくなってきた中、十月三十一日、十一月一日の二日間にあたり、八回目を迎えた「いっておかえり 鹿野市」が開催されました！

わたしが足を運んだのは三十一日でしたが、たくさんの方が会場にいらっやかっていて、とても賑やかなでしたよ。たくさんの方が行き交う様子はまさに「市」！ 活気にあふれた時間でしたよ。

おなじみ「焼き柿」「鹿野茶」のふるまい、スタンプラリーのほか、今回は新しい企画もありました！ 新企画や、会場の様子については、裏面に載せている写真をご覧ください。

8回目の鹿野市も、大盛況でした！



今回の鹿野市の地図ですが、なんだかいつもより、書いてある内容が多いような？ と思われた方もいるかと思いますが。

そう、いつもより、地図の範囲が広がっていますよね。

それには、とても素敵な理由があるんですよ。詳しくは、裏面をご覧ください！



第5回目の「鹿野市」でもふるまわれた「焼き柿」は、今回も大好評でした！ 柿らしからぬほくほくした甘みは、柿というより、芋……？ ちなみに、会場では焼き芋も販売されていました。こちらもおいしかったですよ！

会場をあるいて

下のお菓子は、専門学校の学生さんが、鹿野のそば粉を使って作ったスペインの伝統的な焼き菓子「ボルボロン」です。さくさくしておいしいお菓子ですよ♪



こちらが今回の新企画。鹿野のお店のポスター展です！ デザイナーさんが、鹿野のお店を面白く紹介しています。思わず、クスッと笑っちゃう、楽しい内容でした。



そして、左の写真をご覧ください。これは、「下市広場」の写真なんです。今回、下市自治会の皆さんも「鹿野市」に参加されていたんです。鹿野市の地図が広範囲になっていたのは、下市自治会の皆さんが参加されたからなんです！ どんどん広がる「鹿野市」の輪。次回がとっても楽しみです！